

はまなす



令和5年1月13日
四倉高校図書館だより第5号

令和5年、今年は卯年です。これまでの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍するような年、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。しっかり目標を定めて歩み始めましょう。

さて、年の初めに見る夢を初夢と言いますが、吉夢を見るために「折り紙で作った宝船を枕の下に敷くとよい」。こんなおまじないを聞いたことありませんか？この宝船に乗っている七福神の中で、日本出身の神様は意外なことに一柱(ひとはしら)だけです。多国籍の神様が仲良く1つの船に乗る姿は、私達にとっても大切なことを示してくれます。「ダイバーシティ(多様性)」を神様達ははるか昔から実践しているのですね。



『レペゼン母』

宇野碧/著

この題名をみただけでラップが関係してる話？と気が付いた人。鋭いねえその通り！ラップというコミュニケーションが母と子のねじれた絆を解きほぐしていきます。若くして夫に先立たれた主人公(母)は、女手一つで梅農家を営み商才もあり元気に暮らしています。ただ一つ気がかりなのは一人息子の雄大。二度の離婚と借金そして今は行方知れず。偶然ラップバトルに雄大が出場することを知り、ラップでなら息子と話ができるのではないかとラップバトルに応募します。なんでもできる母と意気地のない息子の、ちょっとせつなくて心に沁みる話です。

*レペゼンとは、「代表する、象徴する」を意味するヒップホップ用語です。



『世にも奇妙な博物館 未知と出会う55スポット』

丹治俊樹/著

タイトルの通り、日本には「へんな」「奇妙な」「熱狂的なファン」がいる博物館が地方のあちらこちらにあります。その数なんと5700以上。この本には、全国の博物館から厳選した55館が掲載されています。皆さんが中学までお世話になった学校給食も、埼玉県に博物館があります。その名も「学校給食歴史館」。最初の給食は、山形県のお寺で貧困児童に無償で提供された、おにぎり2つと塩鮭に漬物。時代ごとに展示されている給食のサンプル写真を見ていると、小中学校にタイムワープしたような気分になります。今では高級になってしまったクジラ肉が昭和時代の給食メニューに入っていたり、平成元年にはバイキング形式の給食があったりと、給食1つとっても時代の変遷を感じます。